

## 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年1月分：速報)

### <対世界>

○輸出総額:1兆952億円(伸率:+15.3%) ⇒ 3か月連続のプラス

- ・順位:9位、1月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(565か月、1月は48か月)による。以下同じ。】

- ・増加品目:半導体等電子部品(同+47.3%)、半導体等製造装置(同+68.2%)

○輸入総額:8,843億円(伸率:▲14.7%) ⇒ 5か月連続のマイナス

- ・順位:26位、1月としては3位

- ・減少品目:原粗油(同▲30.6%)、液化天然ガス(同▲48.7%)

○差引額:2,109億円 ⇒ 12か月連続の輸出超過

- ・順位:27位、1月としては1位

為替レート: 2026年1月:156.91円/ドル(2025年1月:157.20円/ドルと比べ0.2%の円高)

### <品目別動向>

#### ○輸出

半導体等電子部品(1,141億円→1,681億円、伸率:+47.3%)は、香港(411億円→746億円、同+81.7%)及びベトナム(130億円→281億円、同2.2倍)向けが増加し、7か月連続のプラスとなった。

また、半導体等製造装置(527億円→886億円、同+68.2%)は、中国(98億円→281億円、同2.9倍)及び韓国(339億円→466億円、同+37.2%)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、自動車(2,743億円→2,454億円、同▲10.5%)は、中国(585億円→466億円、同▲20.3%)及びアメリカ(725億円→623億円、同▲14.1%)向けが減少し、10か月連続のマイナスとなった。

#### ○輸入

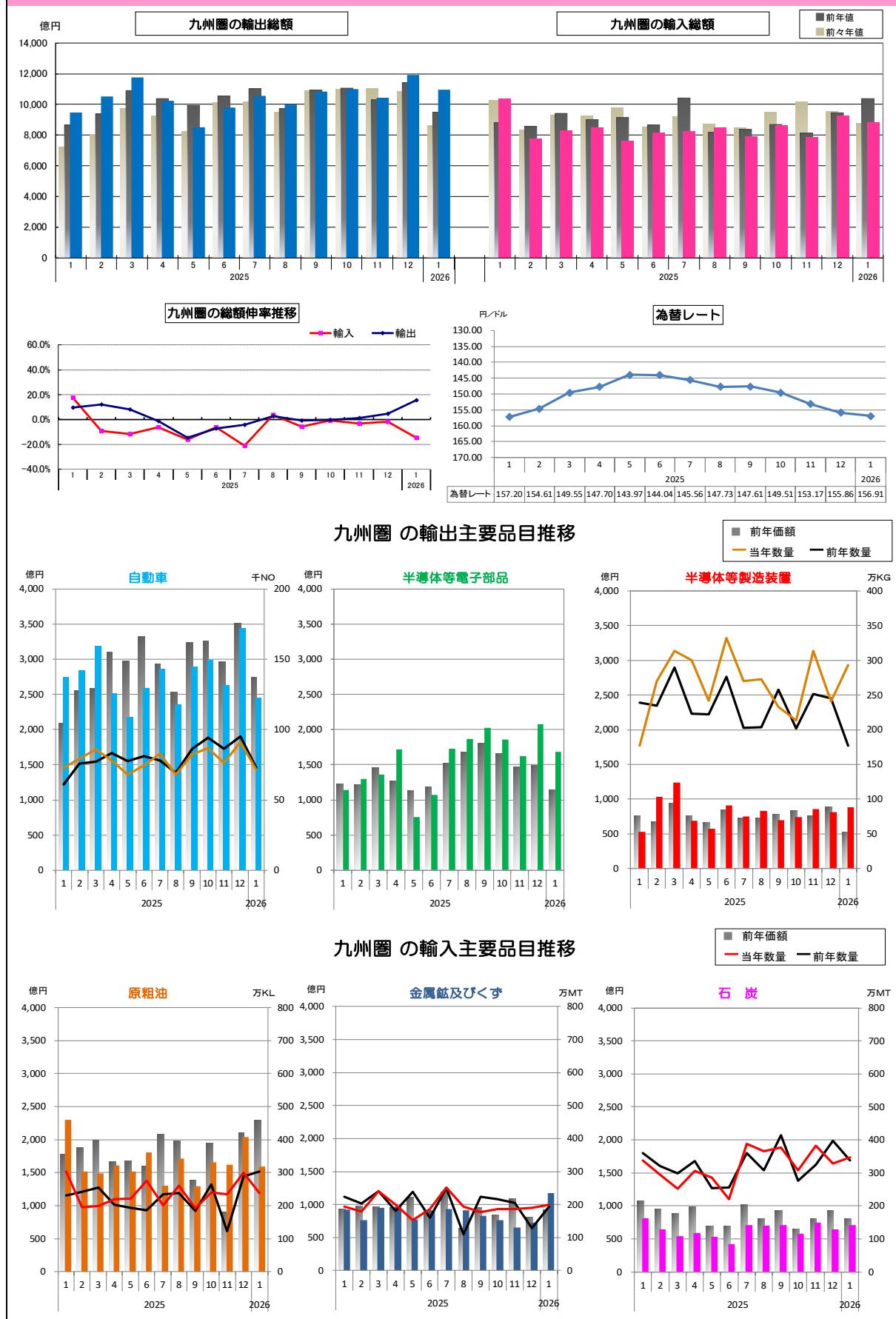
原粗油(304万KL→238万KL、伸率:▲21.7%、2,301億円→1,596億円、同▲30.6%)は、サウジアラビア(181万KL→143万KL、同▲21.0%、1,370億円→982億円、同▲28.3%)及びクウェート(44万KL→20万KL、同▲54.0%、338億円→128億円、同▲62.0%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

また、液化天然ガス(60万MT→34万MT、同▲43.6%、608億円→312億円、同▲48.7%)は、マレーシア(13万MT→7万MT、同▲48.2%、134億円→56億円、同▲58.4%)及びオマーン(6万MT→実績なし、60億円→実績なし)からが減少し、9か月連続のマイナスとなった。

一方、金属鉱及びくず(920億円→1,178億円、同+28.0%)は、銅鉱(502億円→718億円、同+43.0%)が増加し、5か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

# 令和8年1月分：速報



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。